

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 232 2023.5.26

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

金城民俗資料館 50 周年記念

金城民俗資料館は、昭和 48 年 11 月 3 日にオープンして、今年で開館 50 周年を迎えました。55 年前に、波佐地区の全家庭から民俗資料として、3,500 点の民具を提供いただきました。収集した民具は、学術的に整理して、文化財の指定を受け金城資料館が建築されました。

「実践民俗学」、「民俗資料回想セラピー」、「ふるさと学習」を推進している資料館です。特に、囲炉裏の間の立体展示は、往時を偲ぶ「オモテ住い」のものです。紙漉き用具は、一枚漉き用の漉簀は馬の尻毛で編んだ希少な用具で、江戸時代の紙漉き用具が完全に揃っている唯一の資料館です。紙漉き作業写真と併用してご覧ください。また、民具の改良・進化など比較研究の出来る資料や民具を用いた労働慣行の写真資料も提供しています。**波佐の緒職用具 755 点**(鉄穴流し用具 15 点、鉦製鉄用具 31 点、鍛冶屋用具 126 点、炭焼き用具 48 点、屋根葺き用具 26 点、紺屋関係用具 494 点、養蚕用具 15 点)は、2 館に分けて展示中。

金城歴史民俗資料館は、200 年前に建築された「たたら蔵」が昭和 53 年に金城歴史民俗資料館に改修され、開館 45 周年を迎えました。鉄穴流し用具、たたら製鉄用具、鍛冶屋用具、たたら文書(市指定)など 6,600 点の資料で石見のたたら製鉄を知る上で唯一の資料館です。

チベット巡礼探検家・能海寛の歴史資料(市指定)3,000 点。文豪島村抱月資料 50 点。埋蔵文化財 3,000 点を収蔵展示しています。企画展『藍染の型紙展』Part 2 を 6 月 3 日(土)より開催します。

国指定重要有形民俗文化財「波佐の山村生産用具」758 点(S46.12.15)

(指定理由) 旧波佐村は、中国山地の分水嶺に近い高地にあり、殆どが山地で農地は少なく、江戸時代には津和野藩の紙年貢に供するため紙を漉いていました。民具収集は住民の自発的意志によって巨細にわたり取りまとめたもので質量ともによく備わり、この地域の生産生活の特色を示すものとして重要。

農具 244 点、山樵用具 110 点、紙漉き用具 110 点、紡織用具 152 点、運搬具 64 点、仕事着 78 点。

島根県指定有形民俗文化財「波佐の山村生活用具」221 点(S47.7.28)

(指定理由) 石見部山間部における伝統的食生活を系統的に知ることができる資料です。

食品製造貯蔵用具 41 点、食物調理調整用具 76 点、飲食用具 104 点。



企画展「藍染の型紙展」Part 2 会期：令和 5 年 6 月 3 日(土) — 12 月 24 日(日)

開館日：土曜・日曜日です。※閉館日に来館ご希望の場合は、事前予約先：☎090-4697-2818